

FRAME  
ARMS



MULTI ASSEMBLABLE MECHANICAL UNIT  
NON SCALE  
FULL ACTION  
PLASTIC MODEL KIT

# DURGA I

## HAND SCALE



フレームアームズ・ガール  
ハンドスケール  
ドゥルガー I  
デザイン

\*イラストはイメージです。

© KOTOBUKIYA

CRAFTSMANSHIP  
**KOTOBUKIYA**

**⚠ 組み立て前にお読みください。(下図のパーツは説明用の一例です。本製品のものではありません。)**

## ⚠ 注意

- 本製品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満の方には、絶対に与えないでください。
- 窒息などの危険がありますので、誤飲に注意してください。小さなお子様には絶対に与えないでください。
- 製品上やむをえず尖った形状の部品がありますので、誤って目や皮膚を刺さないように注意してください。
- 部品加工の際、出た刃りカスを吸わないように注意してください。
- 塗料や接着剤の使用の際、必ず換気を良くして行ってください。
- 部品の加工の際、刃物の取り扱いには十分注意してください。
- ぶつけたり振り回すなどの、乱暴な遊びをしないでください。思ひぬケガをする危険があります。
- 本製品は予告無く仕様を変更する場合がございます。ご了承ください。

### ■必ずお読みください。

- 組み立てる前に必ずパーティリストで各パーツの有無を確認してください。
- バーナー・ニッパー・カッター等できれいに切り取ってください。  
(ゲートは十分注意してください)
- 組み立てには、カッターナイフ・プラスチックモデル用塗料などを使用します。
- 塗料はより安全な水性塗料をおすめします。
- 工具・材料は、模型用品取扱店等でお買い求めください。
- 塗装についてのお問い合わせはお答えできかねる場合がございます。

### 【パートの接続について】

当キットの組み立てはハメ込み式ですが、別売りのプラスチックモデル用接着剤を使用して組み立てることで、よりしっかりと仕上がりをお楽しみ頂けます。

※ABS製パートが入っている場合、ABS用接着剤をご使用ください。

### 記号の説明



はめ込む



① 内の順番で組み立てる



パートの向きに注意



破損に注意



切り取る



選択式



パートの下にある  
ゲートを切り取る



切り取る位置に注意

## パート番号について

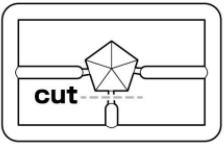
パート番号は数字とアルファベットの組み合わせで、構成されています。

### 〈A①の場合〉

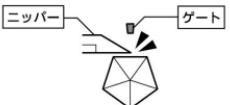


## パートの切り取り方

①パートから少し離れた部分を切り取ります。



②ニッパーで残ったゲートの部分をきれいに切り取ってください。

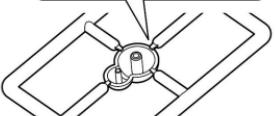


✗ ゲートが残っていると、きれいに組み立てることが出来ません。

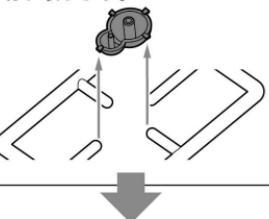


## ②のついたパートの切り取り方

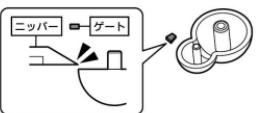
パートの下側にゲートが付いています。



①パートから少し離れた部分を切り取ります。



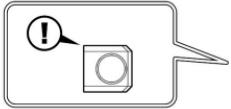
②ニッパーで残ったゲートの部分をきれいに切り取ってください。



## 二重線の吹き出しについて

二重線の吹き出しへは、『横から見た図』や『組み立てた図』などの補足図になります。  
形状をよく確認して組み立ててください。

### 〈使用例〉



# フレームアームズ・ガール ハンドスケール ドゥルガーI/パーティスト

パートA  
(ABS)



パートB  
(ABS)

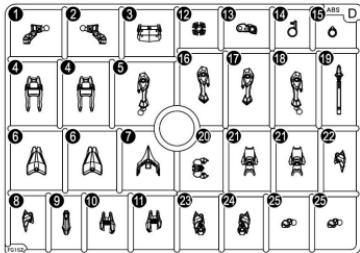


パートC  
(ABS)

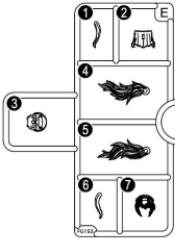


※C⑦、C⑧は水転写デカールを貼る等してご使用ください。

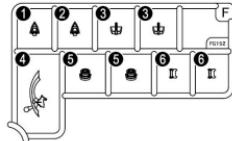
パートD  
(ABS)



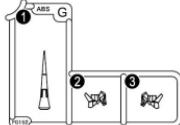
パートE  
(PS)



パートF  
(PS)



パートG  
(ABS)



ハンドパート  
(PVC:非フタル酸)  
※図はランナーの一部を省略しています。  
※ハンドパートは選択式です。



平手①



平手②



握り手



武器持ち手①



武器持ち手②



※使用しないパート

フェイスパート  
(ABS)

※フェイスパートは選択式です。



通常顔



叫び顔

○水転写デカール

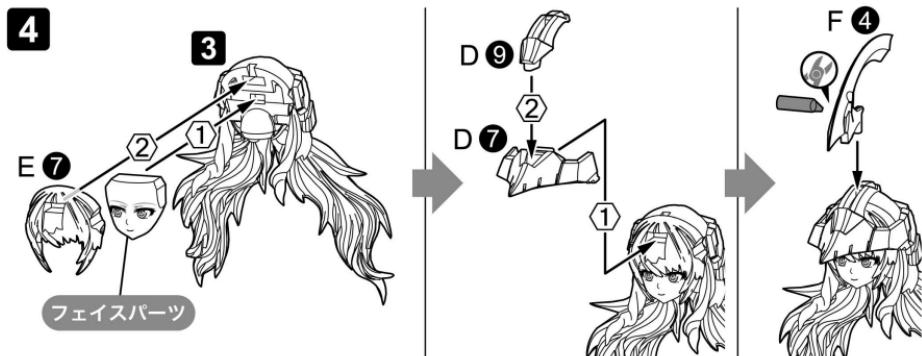
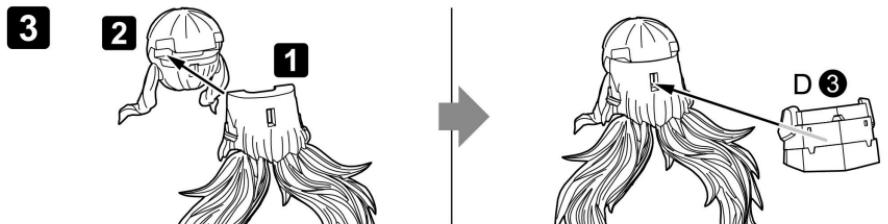
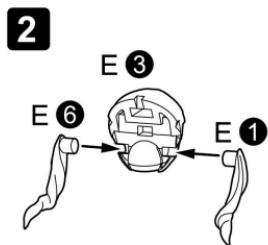
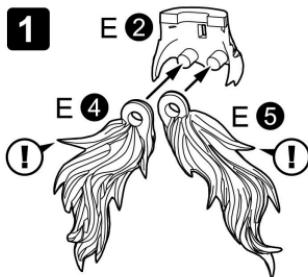
※フェイスパートの塗装部分は模型用のうすめ液で落とすことができません。

⚠ 本書のイラストは開発中のデータを使用しています。やむをえず細部の形状が実際の製品と異なる場合がございますが、予めご了承ください。(組み立てに支障はございません。)

## 頭部の組み立て

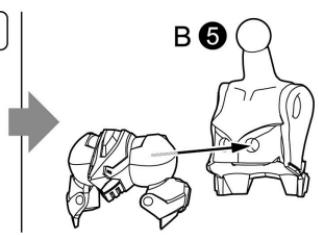
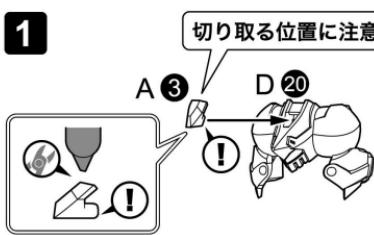
### 〈完成イメージ〉

※完成イメージは  
塗装完成品を使  
用しています。



## 胸部の組み立て

### 〈完成イメージ〉



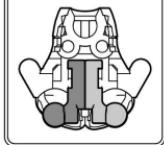
## 腰部の組み立て

### 〈完成イメージ〉

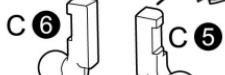


1

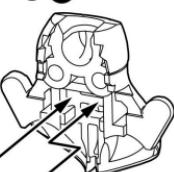
〈組み立てた図〉



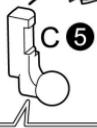
C ⑥



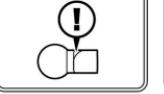
C ①



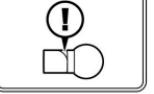
C ⑤



〈上から見た図〉



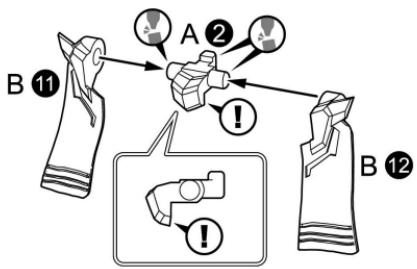
〈上から見た図〉



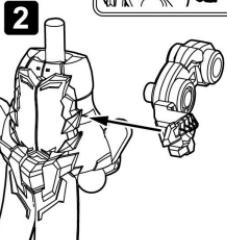
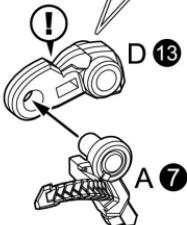
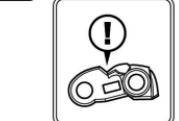
C ④



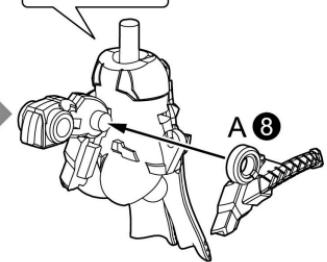
2



3

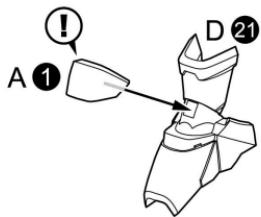


向きを変える



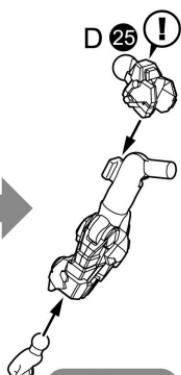
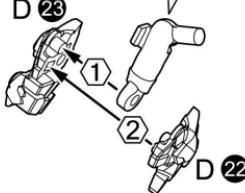
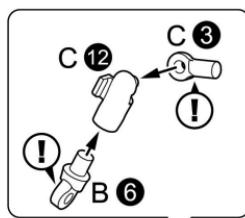
## X2 肩アーマーの組み立て

〈完成イメージ〉

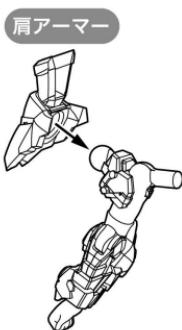


右腕の組み立て

〈完成イメージ〉

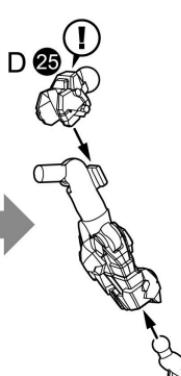
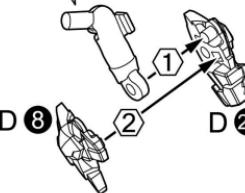
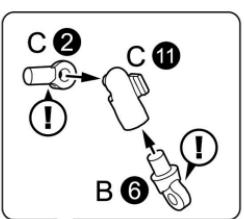


ハンドパーツ

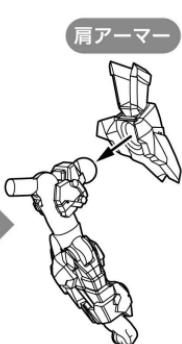


左腕の組み立て

〈完成イメージ〉



ハンドパーツ

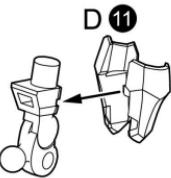
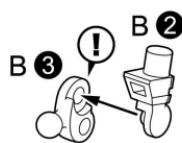


## 右脚の組み立て

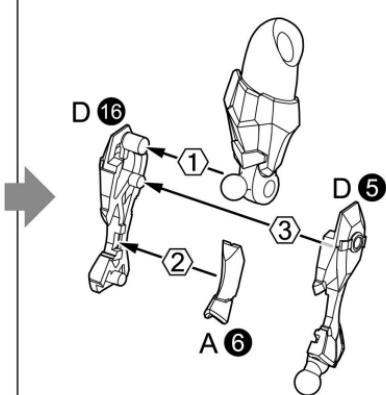
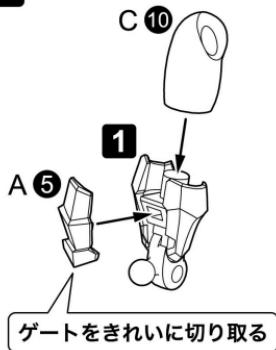
### 〈完成イメージ〉



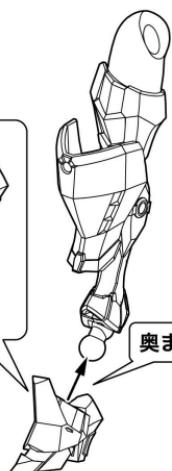
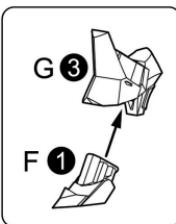
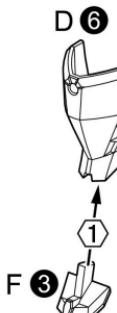
1



2



3

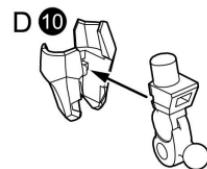
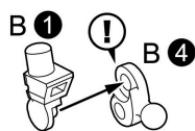


# 左脚の組み立て

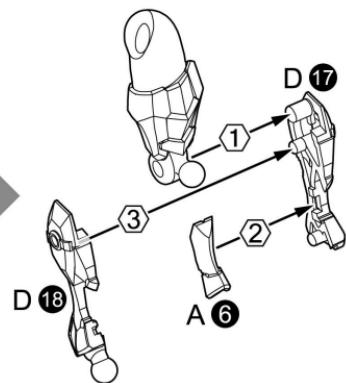
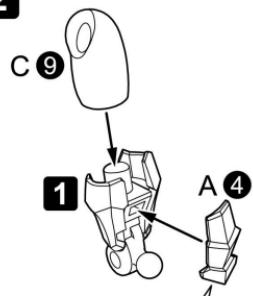
## 〈完成イメージ〉



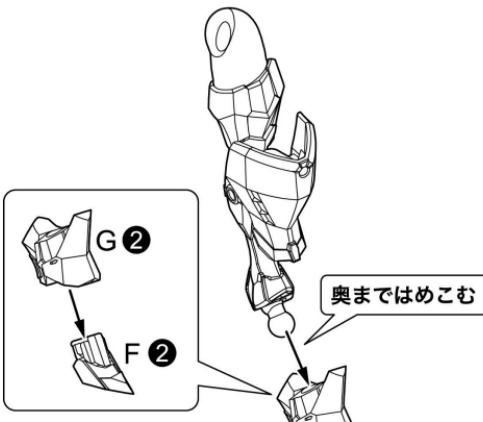
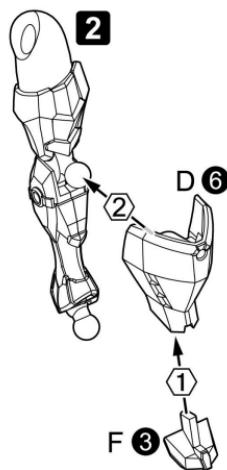
1



2



3



## 背部ユニットの組み立て

### 〈完成イメージ〉

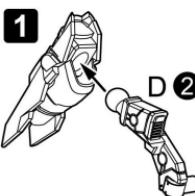


1 X2



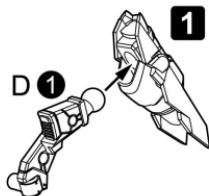
2

〈背部ユニット(右)〉



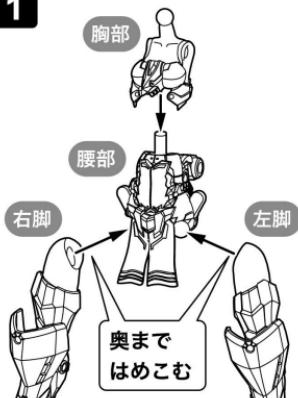
3

〈背部ユニット(左)〉



## ドルガーIの完成

1



B⑦

向きを変える

B⑩

向きを変える

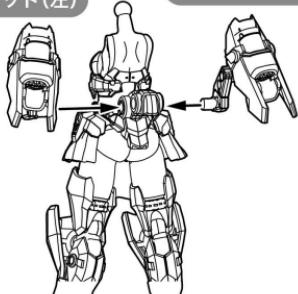
向きを変える

2

背部ユニット(左)

1

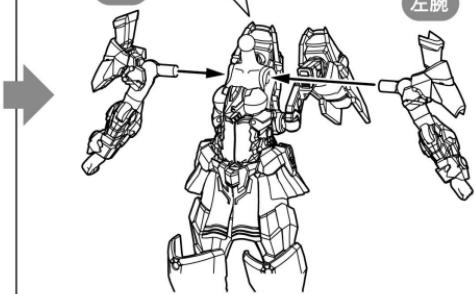
背部ユニット(右)



右腕

左腕

向きを変える



3

〈横から見た図〉  
※説明のために一部パーツを省略しています。



干渉を避けて  
取り付ける

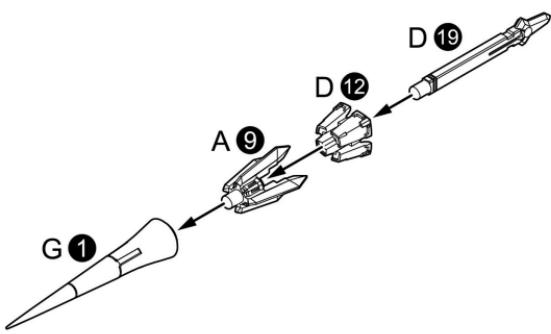
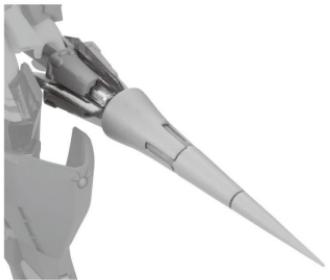
頭部

2



## ヘイルラングの組み立て

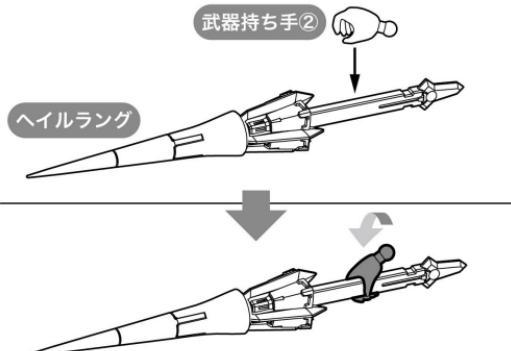
### 〈完成イメージ〉



### ヘイルラングの持たせ方

※左右の各種武器持ち手も使えます。  
※持たせた後、本体のハンドパーツと交換します。

武器持ち手②



### 背部ユニットの可動について

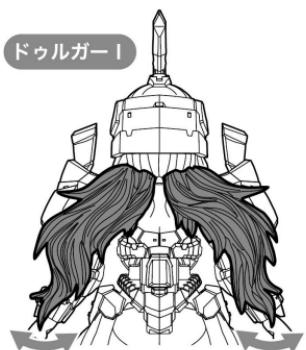
※説明のために一部パーツを省略しています。

ドゥルガー I



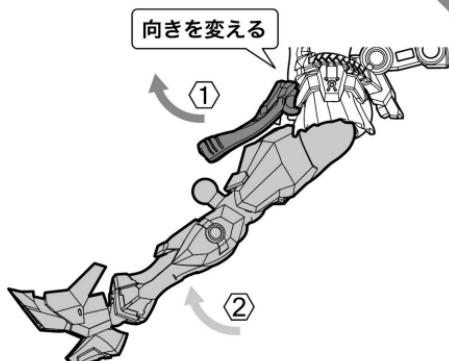
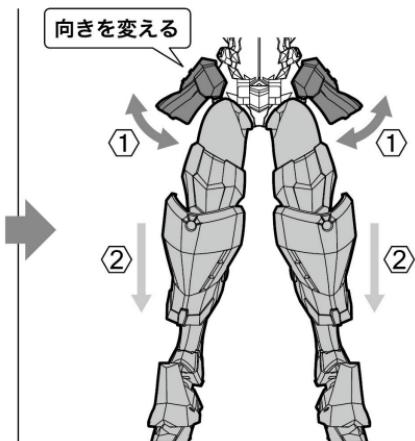
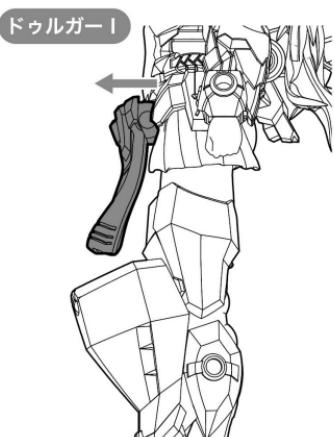
## 髪の毛の可動について

※説明のために一部パーツを省略しています。



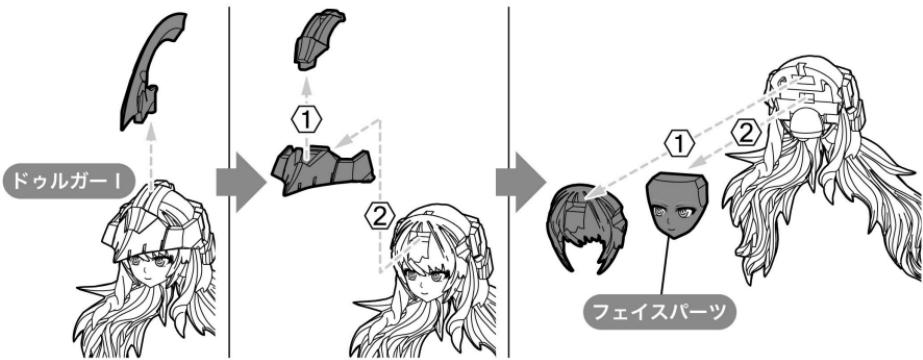
## 脚部の可動について

※説明のために一部パーツを省略しています。



## フェイスパーツの交換方法

※説明のために一部パーツを省略しています。  
※交換するパーツを逆の手順で取り付けます。



## ミニフライングベース(別売り)の取り付け方

※説明のために一部パーツを省略しています。



# COLOR/DECAL GUIDE

●=Mr. カラーシリーズ(株式会社 GSI クレオス)

●1 Mr.カラー / H-1 水性ホビーカラー :ホワイト

●XCO01 Mr.クリスタルカラー :ダイヤモンドシリバー

■=ガイアカラーシリーズ(ガイアノーツ株式会社)

■001 ガイアカラー :ピュアホワイト ■FG-01 フレームアームズ・ガールカラー :プラスチックフレッシュ

●GX101 Mr.クリアカラーGX :GXクリアブラック

●GX201 Mr.メタリックカラーGX :GXメタルブラック

※こちらの塗料は全国の模型店及びホビーショップ等でお買い求めください。 ※塗料の配合比は参考値になります。ご了承ください。

※ラッカー系塗料(溶剤系アクリル樹脂塗料)と、水性塗料(水溶性アクリル樹脂塗料)は混色できませんので、ご注意ください。

①=デカール番号



## 髪 イエロー

- 1/H-1:ホワイト(50%)
- 4/H-4:イエロー(35%)
- 5/H-5:ブルー(10%)
- 59/H-14:オレンジ(5%)

## 肌

- 111:キャラクターフレッシュ(1)(80%)
- 112:キャラクターフレッシュ(2)(20%)
- ※または
- FG-02:ベースフレッシュ(100%)

## 服 ホワイト

- 1/H-1:ホワイト(65%)
- 13/H-53:ニュートラルグレー(20%)
- 5/H-5:ブルー(10%)
- 4/H-4:イエロー(5%)

## 装甲・武器 パープル

- 67/H-39:パープル(45%)
- 1/H-1:ホワイト(20%)
- 171:螢光レッド(15%)
- 4/H-4:イエロー(15%)
- 100/H-43:マルーン(5%)

## 服 ゴールド

- ベース
- 1/H-1:ホワイト(50%)
- 58/H-24:黄橙色(35%)
- 59/H-14:オレンジ(10%)
- 5/H-5:ブルー(5%)

- コート
- XCO08:ムーンストーンバーレ(100%)

# COLOR/DECAL GUIDE



## 頬紅

頬紅は、ピンク色のパステル ([ヌーベル カレーパステル] ローズ014)を紙やすり(400番)で粉にして、短めの筆にとって軽く撫でるようにして彩色します。頬紅の後、頬の白のハイライトを入れるとより再現度が上がります。



## 装甲 ゴールド

●GX210:ブルーゴールド(100%)



## 装甲 ブラック

●2/H-2:ブラック(45%)  
●8/H-8:シルバー(30%)  
●1/H-1:ホワイト(15%)  
●100/H-43:マルーン(10%)



## 装甲 クリアレッド

ベース  
■009:ブライツilver(100%)  
コート  
●47/H-90:クリアーレッド(70%)  
●171:螢光レッド(30%)



## リボン レッド

●108:キャラクターレッド(70%)  
●1/H-1:ホワイト(15%)  
●100/H-43:マルーン(10%)  
●4/H-4:イエロー(5%)

※水転写デカールの貼り方については、下部記載の「水転写デカールの貼り方」をご参照ください。

※デカールの位置を確認して貼ってください。

## 水転写デカールの貼り方

- ハサミまたはデザインナイフ、ピンセット、純剝などを用意してください。
- デカールを貼る部分の油分をあらかじめ中性洗剤などで拭き取るとしっかりと貼ることができます。

デカールが乾くまで手を触れないようにしてください。

- ①使用するデカールをハサミまたはデザインナイフで台紙ごと切り取ります。
- ②切り取ったデカールを水またはぬるま湯に約10秒程浮かべ、ピンセットで引き上げます。
- ③デカールを台紙からはがし、位置を調整しながら貼り付けます。
- ④貼り付けたデカールの上から純棒をやさしく押しあて、残っている水分を押し出します。  
デカール部分が完全に乾けば完成です。

- ざらざらした面や凹凸面、水を吸い込む物(ざらざらした塗装していない木製品等)には貼ることができませんのでご注意ください。
- もし失敗してはがしたい場合は水をたっぷりと含ませたタオル等を10分程あてて、絶くこすってください。

## 〈曲面にデカールを貼る際のワンポイント〉

別売りの「デカール軟化剤」を使用することで、デカールが柔らかくなりますので、曲面にきれいに密着させることができます。  
最後に別売りの「表面仕上げ用コート剤スプレー」をデカールに軽く吹きかけることで、より破れにくい仕上がりになります。

※バーツを取り付ける際には、デカールを貼った面に触れないように注意しながら取り付けてください。

※デカール軟化剤を塗るとデカールが破れやすくなります。

貼った後は完全に乾くまでデカールに触れないようにご注意ください。  
余白ができる場合は、バーツの形に沿って切り取るか、内側に折り込んでください。

※「デカール軟化剤」と「表面仕上げ用コート剤スプレー」のご使用の際には、製品説明をよくご確認してからご使用ください。



※ABS製パーツへの塗装は、パーツの破損につながる恐れがありますので、お勧めできません。

※PVC製パーツは材質上、塗料をはじくため塗装はお勧めできません。

